

NSI SEMINAR

内田 直滋 先生

Naoshige Uchida, Ph.D.

Professor, Department of Molecular and Cellular Biology, Center for Brain Science
Harvard University, USA

ドーパミンニューロンの多様性について

Multiple dopamine systems

中脳の腹側被蓋野 (ventral tegmental area, VTA) や黒質緻密部 (substantia nigra pars compacta, SNc) のドーパミン作動性ニューロンは、報酬にもとづく学習、動機付け、運動に重要な役割を果たしていると考えられている。これまでドーパミンニューロンは、実際に得られた報酬と予測された報酬の差、つまり、報酬の予測誤差 (prediction error) を計算し、脳の広い部位に信号していると考えられていた。しかし、最近の研究から、報酬予測誤差以外のシグナルを送るドーパミンニューロンが存在することが明らかになってきた。本セミナーでは、ドーパミンニューロンの多様性に関する、われわれの解剖学的、電気生理学的研究を紹介し、新しいドーパミンニューロンの反応特性、およびその機能について議論する。

日時: 11月22日(木) 17:00~

場所: 理学南館 1階セミナー室

Seminar Room, 1st floor, Science South Building